

【機密性2】

地球環境に関するアジア太平洋地域共同研究・観測事業拠出金

(240百万円、うち入れ替え分78百万円)

アジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN)

Asia-Pacific Network for Global Change Research (APN)はアジア太平洋地域の22ヶ国*が参加する地球変動研究に対する競争的な研究資金を提供する機関。

[位置づけ]

- アジア太平洋地域の地球環境研究支援ネットワークとして1996年に設立。
- 我が国は、米国(米国国立科学財団)とともに、最大の拠出国として、APNを支えている。

[目的]

- アジア太平洋地域における地球変動に関する国際共同研究の推進
- 地球変動研究に係るデータの標準化、収集、分析、交換
- 開発途上国の科学的能力の向上
- 他地域のネットワークとの協力促進等

[成果]

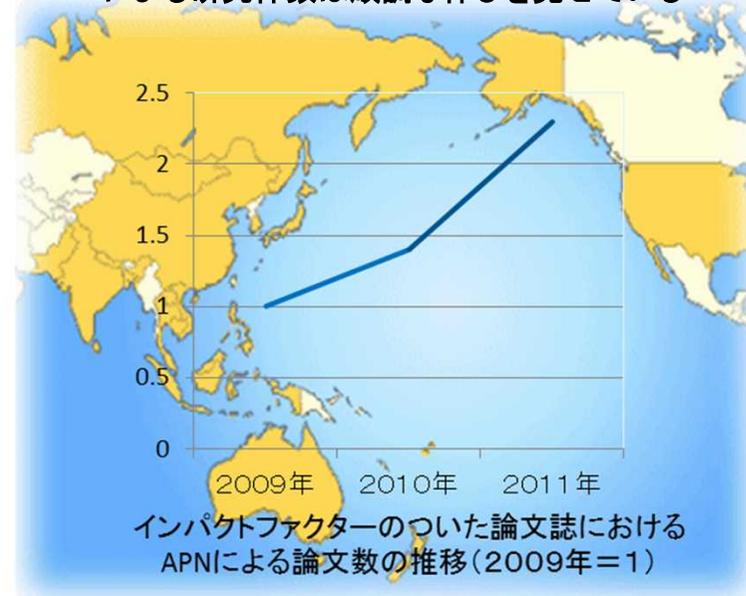
- 国連気候変動枠組み条約(UNFCCC)で地域研究プログラムとして認知され、科学技術のキャピビル活動として評価。
- 気候変動に関する政府間パネル(IPCC)に研究成果が引用されている。
- 生物多様性分野でもUNFCCCへのインプットおよびSATOYAMAイニシアティブの推進にも貢献。

[入れ替え分]

- 大規模自然災害リスク保険制度を含む適応の共同研究・能力向上プログラム及び国際会議の開催(78百万円)

* オーストラリア、バングラデシュ、ブータン、カンボジア、中国、フィジー、インド、インドネシア、日本、ラオス人民民主共和国、マレーシア、モンゴル、ネパール、ニュージーランド、パキスタン、フィリピン、大韓民国、ロシア連邦、スリランカ、タイ、アメリカ合衆国、ベトナム

APNによる研究件数は順調な伸びを見せている



■ 公募型共同研究
(1998～2011年度実績)
累積235案件

■ キャパシティ・ビルディング型研究
(2003～2011年度実績)
累積123案件